



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.27  
六甲山の苔/秋山弘之  
2005年6月発行

## 第27回テーマ:六甲山の苔



みんなで地面を見つめる

### 講演内容

苔の多様さとその美しさ  
生きてゆく上での工夫  
六甲山の苔を実際に見てみる

実施日:平成17年6月18日(土)  
午後1時~3時30分  
場所:六甲山自然保護センター内  
レクチャールーム  
記念碑台周辺



講師: あきやま ひろゆき 秋山 弘之さん

### プロフィール

1956年生まれ、大阪府出身。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。平成6年より兵庫県立人と自然の博物館主任研究員。専門分野は苔植物の分類学。

### コアジサイが可憐な花をつけていた

梅雨入りして心配だった天気も当日は快晴。散策路のところどころにはコアジサイが小さな花を開いていました。そのかわいらしい姿は午前中の清掃ボランティア活動に参加した10名の目を和ませてくれました。

自然保護センターの改修も進んでおり、建物の外装、階段や手すりなどが変わって全体的にウディ調になっていました。



コアジサイ



スギゴケ

### コケの分類を知った

今回は県立人と自然の博物館の主任研究員、秋山弘之さんに講演していただきました。秋山さんはコケ植物の研究がご専門です。子供の頃からの面白そうなものを拾い集める癖と登山の趣味が結びついて、植物採集や分類の研究がライフワークになったとのことでした。

コケといえば、盆栽や庭園などで観賞するもののふだんはあまり気に留めることのない目立たない存在です。実は様々な種類や生態があることを知りました。コケでないコケや変わった生態など、短時間でたくさんの種類を紹介いただきました。

主催:六甲山自然保護センターを活用する会  
協力:兵庫県立人と自然の博物館  
後援:兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

### ほんの一小時間で10種類以上を発見

講演での知識をもとに野外観察をしました。自然保護センターの周りや記念碑台の広場、駐車場の石垣、散策道等を見て回りました。センターからほんの数十メートルの範囲に10種類以上のコケを発見。花などを見る視点の数10センチ下にはコケの世界が広がっていました。土の上、木の幹、コンクリートの壁など、ルーペを使ってじっと見つめたり触ったりして楽しみました。



自然保護センターの前でコケを観察

### もっと自然に目を向けてみよう

今回のセミナーでは、視界に入っても意外と見えていないものがたくさんあることを教えていただきました。小さな自然に目を凝らすルーペの世界はとても面白いものです。庭の隅や道端など身近なところにひっそりと息づき、安らぎを与えてくれているコケの魅力を改めて見直すことができました。

詳しくは、1・2ページをお読みください。

### 【助成金をいただいている機関】

(財)大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)(財)ひょうご環境創造協会、コープこうべ環境基金